

港区立本村小学校
令和5年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成や書き表し方に着目して文章を整えること。 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることに課題がある。 配当の漢字を読むこと、書くこと。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について、資料やデータを読み取ること。 資料から読み取ったことをもとに表現すること。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決のために立てた式の意味を数直線などの図を使って説明すること。 既習事項を用いて道筋を立てながら課題を解決したり、見方を変えてほかの解決方法を考 考 えたりすること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 台風が近づいた時の天気の変化を理解すること。(知識・技能) ふりこの周期は振り子の長さに依存することを理解し、その値を求めること。(思考・判 断・表現) 子宮の中の子どもと胎盤をつなぐ部分を「へそのお」ということの理解。(知識・技能) 川原の石の写真から、観察された川原の場所を推測する。(思考)

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成や書き表し方に着目して、文章を整える力。 目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書く目的を明確にもって書くように指導する。互いの文章を読み合う際には、目的を再確認した上でどのよ よ うな構成や表現がより目的に合っているかを考え、推敲す す る活動を行う。児童が目的や意図に応じて構成を考えたり、 文章を修正したりできるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史と政治および国際理解に関する社会的事象の理解と各種資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料などをもとに、児童が主体的に学習問題を設定することができるように、単元の導入での資料提示の仕方を工夫する。 複数の資料や情報を比較・関連付け・統合して考えさせる学習の場を設定することで、社会的事象について児童が が 論理的に説明できるようにする。 児童一人一台の情報端末を活用し、児童の興味・関心を

		資料に向けさせたり、資料から分かることなどをスクール タクトでまとめたりする活動を取り入れることで、児童 が 互いの考えを交流し、学習内容に対する理解を深められ る ようにする。
--	--	--

算数	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察する力	・整数、小数、分数の概念や加減乗除の計算の仕方を確実に理解できるように習熟度別学習を展開し、その中でも練習問題に取り組む時間を設定する。 ・領域を問わず、問題解決のために立てた式の意味を数直線などの図を使って説明する活動を積極的に取り入れ、児童が数の関係を正しく捉え、根拠をもって立式できるようにする。

理科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・実験、観察などに関する基本的な技能 ・実験の条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する力	・実験、観察などの基礎的な技能を身に付けさせるために、個々の児童の活動を十分に確保したり、複数回取り組ませたりする。 ・予想や仮説、観察、実験などの方法について考えたり説明したりする力を身に付けさせるために、ペア、グループでの対話的な活動を取り入れる。

生活	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
----	-------------	----------------------

音楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・今まで学習した知識・技能を生かし、その曲に合った表現を見つけ、表現を工夫する力。友達と関わり、学び合いながら、表現を高めていく力	・様々な表現方法を体験しながら、どの表現の工夫がその曲に合うか考えさせる活動を取り入れる。そのためには、表現する基礎的な技能を高めていく。表現の工夫について一人では思いつかない子も、友達との関わりの中で工夫できるようにする。

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりして表し方を工夫する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや想像したこと、見たことなどから表したいことを見付け、形や色、材料用具、画面構成の経験などを総合的に生かせるように、既習事項を繰り返し試させる。 ・自分の思いを大切にしながら、作品をつくり、つくりかえられるように挑戦心・肯定感を高める指導を行う。

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の営みにかかる見方・考え方を働かせ、衣食住など、生活をよりよくしようと工夫する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から問題を見出して、様々な解決方法を考えさせる。 ・既習との関連・中学校との関連を意識し、A 家族・家庭生活、B 衣食住の生活、C 消費生活・環境の3つに整理された同一内容の系統性や連続性を考えて指導する。 ・他者と意見交流し、実践を評価・改善して新たな課題を見出す過程を重視した学習の充実を図る。

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り、助け合って運動したりして運動する態度 ・各種の運動の特性に応じた基本的な技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能のポイントを明確にし、具体的な声掛けや、示範を取り入れて指導を行う。 ・運動に取り組む前にルールを確認したり、気持ちの良い言葉掛けをしたりするように、児童へ分かるように示す。 ・学習カードや情報端末を活用し、動きのポイントと自己や友達の動きを照らし合わせ、課題を見つけ解決していくようにする。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと、読むこと、話すこと書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能 ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に warm up の時間を十分とり、歌やチャンツなどで、リズムに乗って楽しく始められるようにする。 ・教師が単元終末段階の児童に望む具体的な姿のイメージをもち、実態に応じて単元を見通した課題設定を行う。 ・テキストや絵カードなどを用いて、指導者が発音したり CD を聞く活動を繰り返し行ったりすることで、児童が英語の短い文章を正しく聞き取れるようにしていく。

道	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
---	-------------	----------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的諸価値についての理解を深める。 ・自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した教材を活用する。 ・児童への「ゆさぶり」を積極的に取り入れ、自分のこととして話し合いが行われる授業展開にしていく。 ・自らを振り返るために、多様な考えに触れられるようにする。その上で話し合いを行い、今後の自己の在り方について考えを深め、道徳的諸価値についての理解を深められるようにする。
--	--	--

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度 ・主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を積極的に取り入れる。 ・自主的に学習する場としての学校図書館等を活用させる時間を確保する。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能 ・自ら問題を見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現する力 ・学習したことを、自分の将来に役立たせようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの情報に関する学習と取り入れる。そのために必要な情報手段の基本的な操作を習得させ、情報や情報手段を主体的に選択し、活用できるように配慮する。 ・情報収集やまとめの作業の途中で、児童が互いに情報や意見を交換し合う場面を意図的に設け、自分の活動を見直すことができる場面を設定する。